

外国の街中を歩くと、たまに道路や歩道の工事現場を見かけます。そこには、機械、工具、資材等が整理されてはいますが、どこことなく唐突に置かれているような感じで、日本の整理整頓された現場と見比べると、雑然と見えてしまいます。

これを見て、以前、欧米垂5カ国のデータセンタを見学させていただいた時に覚えた、ある種のカルチャーショックを思い出しました。センタ内でラックの設置はさすがに水平ではあるものの、複数のラック前面下端が一直線にそろわずに個々にずれて設置されており、さらには床のフリーアクセス板の縁の線に対して斜めに設置されている（当然部屋の壁面に対しても斜め）ものもあることを発見したのです。もちろん、日本のデータセンタにおいては、ラックはフリーアクセス板に平行になる形で一直線にきれいに設置されております。

整理整頓やきっちりした施工は、安全や品質等の観点から非常に大切なことで、もしかしたらその点においては万国共通なのかもしれませんが、日本のレベルの高さには驚くばかりです。と、驚いてばかりいる前に、床が見えなくなるほど雑然としている我が家を、年末に向けて何とかしなければならず、頭を抱えています。(I.O)

新年明けましておめでとうございます。本年も「Raisers」をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、年末にテレビで怖ろしいドキュメンタリー番組を観ました。「あなたの家電が狙われている」というタイトルで、最近しきりにもはやされているIoTの負の一面を報告したものです。今やいろいろな家電がインターネットとつながり、自分のスマホで便利に制御できる時代となりましたが、それらの機器のセキュリティがゆるいと個人情報が見えたり、サイバー攻撃の踏み台にされる危険があるというのです。

ペットなどの様子を外からスマホで確認できるWebカメラを買ってきたままの状態ですと、すぐにハッキングできてしまい、家族は誰も操作していないのに勝手にレンズが回りを見回り、ズームまでするという実験がなにより怖かったです。うかつに着替えもできないでしょう。防衛するにはセキュリティを高めるしかなく、最低限購入時に設定されているパスワードはやめて、長いオリジナルのパスワードで設定する必要があるそうです。

IoT機器を販売し設定まで担当する場合、そうした注意を顧客に促し、安心して使っていただけるようにすることも重要かもしれません。(Y.H)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

#### お詫びと訂正

本誌2017年11月号27ページにて、誤記がございました。  
表4 講演一覧 9月13日(水) 講演者の項

(誤) 株式会社 NTTドコモ  
取締役常務執行役員 スマート  
ライフビジネス本部長  
上原 一郎 様



(正) 西日本電信電話株式会社  
取締役 ビジネス営業本部長  
上原 一郎 様

上原様、読者の皆様に謹んでお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。(2018年1月10日)

Raisers第66巻第1号(通巻第728号) 平成30年1月5日印刷 平成30年1月10日発行

定価 648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

